

グリーンボンドの発行について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕、以下「当社」）は、2022 年 9 月 5 日にグリーンボンドを発行しました。

〈みずほ〉は、グループ全体で戦略と一体的にサステナビリティへの取り組みを推進する中、気候変動が金融市場の安定にも影響を及ぼしうる最も重要なグローバル課題の一つであるとの認識のもと、環境・気候変動への対応を経営戦略における重要課題として位置付けています。

2022 年 5 月には、環境方針で掲げる気候変動の取り組み姿勢を具体的に進めていくため、気温上昇を 1.5°C に抑制するための努力を追求し、2050 年の脱炭素社会の実現に向けて目指す姿・行動（アクション）を示す「2050 年ネットゼロに向けた〈みずほ〉のアプローチ」、および取り組みの方向性を示す「ネットゼロ移行計画」を策定しました。

同方針等に基づき、お客さまとのエンゲージメント（建設的な対話）を起点に、お客さまの脱炭素社会への移行（トランジション）や気候変動対応を支援しています。

かかる中、〈みずほ〉の環境ビジネスを加速させ、ファイナンスを通じた環境へのポジティブインパクトの拡大を図るため、2030 年度に向けて 12 兆円の環境ファイナンス目標を設定し積極的に推進しています。この度、環境分野に関心の高い投資家のニーズにも応えるべく、こうした環境ファイナンスの一部に充当する資金として、当社はユーロ建債の資金調達としては本邦金融機関として過去最大規模となる 8 億ユーロのグリーンボンドを発行しました。

当社のグリーンボンドは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則 2018」と環境省の「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」に沿って策定したグリーンボンド・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）に基づき、発行・管理を行っています。なお、本フレームワークは、第三者認証機関である Sustainalytics 社よりセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

当社は、グリーンボンドで調達した資金を当社子会社である株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）へ融資し、みずほ銀行は再生可能エネルギーなど環境に配慮した事業（以下「グリーンプロジェクト」）に対し融資を行います。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、サステナブルファイナンス・環境ファイナンス等による資金調達支援をはじめ、脱炭素化に向けた事業の強化・転換に資する助言やソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

(グリーンボンドの概要)

発行体	株式会社みずほフィナンシャルグループ
発行総額	8 億ユーロ
発行日	2022 年 9 月 5 日
償還期限	2027 年 9 月 5 日
金利	3.490%
資金用途	みずほ銀行に対する融資に充当し、みずほ銀行はグリーンプロジェクトに対する融資に充当

本ニュースリリースは、当社の証券発行に関する情報を公表することを唯一の目的に作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。本ニュースリリースは、米国内における証券の募集を構成するものではありません。本証券は、金融証券取引法または米国 1933 年証券法に基づく届出または登録がなされておらず、またその予定もありません。本証券は、日本国内または米国内においてもしくは米国人に対して、ならびに本証券の募集または販売を行うことに際して届出もしくは登録が求められるその他一切の法域内において、金融商品取引法、米国 1933 年証券法またはその他適用ある証券関連法令に基づく本証券の届出または登録が行われない限り、本証券の募集または販売を行うことはできません。なお、本件においては、日本国内または米国内における本証券の公募は行われません。

以 上